

# 医療格差

長野県上田染谷丘高校1年 2組 氏名 臼井結菜

# テーマ設定の理由

---

- ・都市部と地方での医療発展に格差がある。
- ・地方のほうが重度の病気患者に関わる医療技術がない。
- ・医療従事者の人数に差がある。
- ・地方や離島などを含む無医村が増加している。
- ・交通アクセスが不十分で病院に行けない。
- ・外国だけだと思ったら日本にも医療格差があったこと。

# 現状

---

- ・都市部に医療機関が集中しすぎている。
- ・都市部と地方では来院する患者数が大幅に違うので、病院側としては診療報酬に大きな格差が生じていること。
- ・高度医療機器の設置などの投入も疎遠されがち。
- ・医師をはじめ看護師などの医療スタッフを揃えるのが難しい。

# 課題

健康保険制度やさまざまな補助制度が国や地方公共団体によって設けられているのに関わらず、受けられる医療のレベルに格差が生じている。

医師などのスタッフが充実し、専門的な高度医療機器が充実している病院がある一方で、医師がいなかったり、専門的な医療を遠方まで行かないと受けられない地域もある。



同じ保険制度を利用しているのに、住んでいる場所によって医療サービスに差が生じる問題。

# この課題に関わるSDGsの番号

3.すべての人に健康と福祉を

8.働きがいも経済成長も

9.産業と技術革新の基盤をつくろう

16.平和と公正をすべての人に

3 すべての人に  
健康と福祉を



8 働きがいも  
経済成長も



9 産業と技術革新の  
基盤をつくろう



16 平和と公正を  
すべての人に



# 解決策

---

## 遠隔医療ソリューション

- 1.患者と医師が距離を超えてつながる～オンライン診療サービス～
- 2.AI・IoTの最先端技術を活用した未来型医療

## 手術支援ロボットの活用で、僻地でも高度な医療の提供

あらゆる地域の人々が高度な医療を受けられる未来のために少しずつ取り組み始めています。

# 10代からの提言

---

- ・少しずつ取り組みが行われてきているが、まだまだ格差があるので、どこにいても対等に医療が受けられる時代にしてほしい。
- ・医療格差に関するSDGsは医療に関係あるだけだと思ったが経済などにも関係しているので、SDGsを達成させるためにはいろいろな視点から見てほしい。
- ・医療関係の職に就きたい人のために情報をたくさん出すべきだと思う。

# 感想

---

- ・私は将来医療関係の仕事に就きたいと思っていたので、そのことに関係することを調べられてよかったです。そして、医療関係の仕事に就いたら、地方の人々に寄り添えられる医療を提供したいと思います。
- ・誰でも対等に受けられる医療の未来が来ることを願っています。
- ・SDGsを表面だけ見ると浅く見えてしまうが、どんどん追求していくと深いことがわかり、もっと他のことも調べて見たいと思いました。